

お江戸日本橋

～江戸情緒が残る日本橋人形町から新橋まで～

(令和元年12月14日(土)・19日(木)・22日(日))

江戸の初期、現在の人形町界限には、江戸唯一の歓楽街があり、大変な賑わいでした。また中村座と市村座の歌舞伎が上演され、人形浄瑠璃の芝居小屋などが軒を並べ、多くの人形師たちがこの町に住んでいたことから、「人形町」という町名がつけました。今回は、日本橋人形町からスタートし、お江戸日本橋を経て新橋まで歩きました。

天候にも恵まれ、3回の例会で合計288人という多くのお客様にご参加いただきました。

受付・班編成・説明・準備体操



浜町駅前

都営新宿線浜町駅を出ると、浜町公園へのイチョウ並木の遊歩道。



浜町公園

熊本藩主細川家の下屋敷跡。現在は、隅田川沿いの区立公園で中央区最大の公園。



弁慶像⇒末廣神社



浜町緑道の“弁慶像”

人形町には、江戸の初期から200年間、江戸三座のうちの中村座と市村座がありました。



末廣神社は、江戸初期に吉原遊郭あった元葎原(吉原)の守り神でした。



人形町の古い家屋

甘酒茶屋⇒人形町商店街⇒水天宮



甘酒横丁を中心に今も賑わう人形町商店街。



「鈴の緒、ガラガラ。今日も境内には、お参りの鈴の音が響きます。」



情けありまの水天宮

人形焼き重盛⇒芸者新道



重盛永信堂

今回のお買い物は、重盛の人形焼。水天宮みやげとして広く親しまれています。



芸者新道

名前の由来は、芸者置屋が数件あったから。花柳小菊の住居もありました。



西郷隆盛住居跡⇒小網神社



西郷隆盛住居跡

江戸時代は姫路藩酒井家の下屋敷、明治になってからは西郷隆盛の屋敷、現在は日本橋小学校。



小網神社

財運向上、強運厄除などのパワースポット。日本橋を舞台とした映画『麒麟の翼』にも登場。

常盤橋門跡と渋沢栄一像



渋沢栄一像

常盤橋門は、大手門から浅草橋門・奥州道に通じる江戸五口の一つ。常盤橋は、東日本大地震により損壊し、現在復原工事中です。

渋沢栄一は、維新後、大蔵省官吏を経て第一国立銀行を設立。五百余の会社の設立に参画し、実業界の指導的役割を果たしました。2024年に登場する新1万円札の肖像になります。



常盤橋



修理中の常盤橋

日本橋



石造二重アーチ構造の日本橋は、明治44年（1911）に第20代目として造られたものです。平成23年（2011）に架橋100周年を迎えました。橋の真ん中で街を見守ってきた翼のある麒麟像は、映画化された東野圭吾氏の小説『麒麟の翼』でも脚光を浴びました。作品の中には小網神社も登場しています。

ヤン・ヨーステン碑⇒江戸歌舞伎発祥の地碑



ヤン・ヨーステン碑

「八重洲」という地名は、江戸時代に日本へ漂着したオランダ人ヤン・ヨーステンに由来します。



江戸歌舞伎発祥之地碑

江戸歌舞伎は、寛永元年(1624)猿若勘三郎が猿若座の櫓をあげたのが始まりと言われています。



昭和モダン建築



レトロとモダンを感じさせる昭和初期のビル「奥野ビル」の旧名は「銀座アパートメント」



旧米井商店の「ヨネイビル」は、昭和5年竣工のシックなオフィスビル。



「交詢ビル」は、ファサード保存によって以前の建築の一部が保存されている。昭和4年竣工の交詢社の本拠。



京橋の親柱⇒銀座発祥の地の碑



大正11年(1922)



大正8年(1875)



銀座発祥の地碑

京橋川の埋め立てに伴って、京橋は撤去されま

すが、明治・大正の京橋の姿をしるばせる親柱があります。

銀座という地名は、江戸幕府が慶長17年(1612)に銀貨

鑄造所を駿府城下からこの地に移したことに由来して



参道は狭い路地



恋愛パワースポット“豊岩稲荷神社”



あざやかな朱色の壁

路地の奥、ビルの中に貼りつくように稲荷神がまつられています。周囲はとても静かで、心落ち着く雰囲気。まさに「銀座に詳しい人だけが知る神社」です。



銀座の柳の碑



銀座の柳の碑⇒新橋停車場跡



新橋停車場跡

“昔恋しい銀座の柳…”と歌われた銀座の柳。今では、銀座中央通りの柳は、「カツラの木」に植え替えられてしまいました。

明治5年(1872)、新橋～横浜間に鉄道が開通。当時の新橋停車場は、現在の新橋駅からは東～350mほどの汐留地区にありました。

明治5年(1872)、新橋～横浜間に鉄道が開通。当時の新橋停車場は、現在の新橋駅からは東～350mほどの汐留地区にありました。



ウォークの最後はクールダウンの体操…そして、“お疲れ様でした”のご挨拶。



好評のスタンプラリー…
新たな出発の日本橋です！